

活 動 報 告

「狭山丘陵にトラスト地が誕生して 30 年、その歴史を学ぶ」散策

……西武球場前駅から大日堂バス停……

2021-5-26

記 柴崎 善博

■開催日時 2021年5月20日(木) 10:00~13:10

■参加者 20名(男性12名・女性8名)

■はじめに

当初「五日市憲法の町散策」を計画していましたがコロナ禍、五日市郷土資料館の入館規制もあり、代替案として「トトコのふるさと基金」会員である佐藤八郎さんの協力いただき、今回の狭山丘陵トラスト地を中心に散策する案が実施の運びとなりました。コースは登りあり、下りありでしたが皆さん元気に全行程を踏破することができました。

■コース概要

西武球場前駅 集合

⇒ 雑魚入(トトコの森1、45号地) ⇒ 北野の谷戸(トトコの森7、11、16、32号地) ⇒
メガソーラー所沢 ⇒ 狭山湖第一駐車場(トイレ休憩)
⇒ どんぐりの道(トトコの森29、38、50、53号地) ⇒ クロスケの家、
解散

■散策記録

□西武球場前駅(10:00集合)

当日は曇り空でしたが気温も高くなく、散策しやすいように感じました。出発前に「参加者名簿」「トトコの森お散歩マップ」「狭山丘陵保全と開発、一目瞭然マップ」「メガソーラー所沢施設について」を配布し散策コースの説明を行い、参加者のマスク着用等コロナ対策を確認してからの出発です。

□柳瀬川源流・・(10:20着)

西武球場前駅から民家の間を歩いて行くと突然林の中に小川のせせらぎが現れました。ここが柳瀬川の源流とのこと。 (狭山湖が出来る前はもっと上流に源流があったそうです)



柳瀬川の源流

□トトロの森48→15→3号地・・(10:30着)

道なりに両側がこんもりとした森になってきました。下草の手入れはされていないようです。軽い上り坂を歩きます。



□雑魚入り・・(10:45着)(トトロの森1→45号地)

ここは当初霊園の計画もあったそうですが市民の狭山丘陵の森を守る思いが今の状態を作ったようです。この付近は湧水による湿地です。まるですり鉢の底に居るような感じが深い森の中を思わせます。ここから先は一番の急坂を登ります。



□北野の谷戸(11:40着)

1号地から45号地へ進むと、伐採されて燻蒸中の貼紙の付いたシートで覆われた根を見つけました。特に古木に虫がつきやすいとのこと。1時間ほど歩いて谷戸に到着です。森の中に急に明るい場所があらわれてビックリ。トトロが出てきそうな感じのする眺めのいい場所です。



□メガソーラー所沢(11:50着)

更に進むと急に視野が開けてきました。メガソーラー所沢です。広いデッキから見下ろすとなだらかな斜面に沢山のソーラーパネルが設置されていて壮観です。(北野一般廃棄物最終処分場の跡地を利用している)年間120万kwh、5000万円位買電出来るようです。凄い！遠くに小手指の高層マンションも見え眺めがいい。ここで暫し休憩、デッキ廻りがベンチになっており、少し陽もさしてきてゆったりできて快適でした。(現在の発電量の電光掲示板があります)

小手指駅前高層マンション



□狭山湖第一駐車場(11:00着)

3月末、完成の洒落た跨道橋「狭山湖ふれあい橋」(写真)を渡ります。渡り終わると前方に狭山湖が広がっています。ここで暫しトイレ休憩、このトイレはオオタカを模したそうです。屋根形状がオオタカ、ちょっと言われないとわかりませんでした。



狭山湖第一駐車場にて参加者の記念撮影



□どんぐりの道(12:00着)

トト口の森29→38→50→53号地と進みます。

途中で面白い虫捕獲の道具が木々の根元近くに吊るされている所がありました。

手作りのような害虫補虫器です、害虫は木の表面を廻る習慣を利用して捕虫するそうです。この習性を利用して捕獲する。凄いアイデア！



□クロスケの家(12:40着)

大きな民家で、長い縁側に座って佐藤さんからこの建物の話を聴きました。向いにある和田製茶園の所有していた家だそうです。話によると奥にお茶を生産する別棟の茶工場があり、クロスケの家よりこちらのほうが昔の生産器具なども保存され貴重な建物だそうです。母屋、蔵、茶工場が国の登録有形文化財に登録されています。見学に来た人のほとんどが大きく立派なクロスケの家に注目しています。解説してもらわなければ解らなかったことです。ここで解散です。予定時間を過ぎましたが楽しく過ごせました。



クロスケの家



茶工場

■おわりに

今回のトトロの森散策は、曇り空でしたが時々薄日の差す良い陽よりでした。雑魚入り付近の霊園計画を中止に持って行った経過やトラスト運動で基金を募り、土地所有者からの提供を受けて今のトトロの森が成り立っていることを詳しく説明していただき、さらに興味が深まりました。自然の森を維持管理することの難しさも感じました。

狭山丘陵、トトロの森は所沢市民の財産であり、また丘陵を辿る路は所沢の歴史を振り返ることにもなると思います。ゼロカーボンシティ宣言の取り組みの一つ緑地の保全などのエコ活動の発信地でもあります。こうした意味からも当会としては狭山丘陵の刻々と変わる自然と保護の活動の歩みをわずかでも見つめていきたいので、年間一度は散策の企画を取り入れたいと改めて感じました。今回の散策では虫や花木を愛でることができ、森の空気を吸って心身共にリフレッシュできました。コロナ禍、ワクチン接種を済ませてもっと活動できるようになるといいですね。

当日、解説、案内役を買って出ていただいた佐藤八郎さんに感謝いたします。

皆様のご協力有難うございました。

付 録 (クロスケの家で紹介していただいた本の再掲載です。)

「トトロの森をつくる トトロのふるさと基金のあゆみ30年」

狭山丘陵のトトロの森を守る運動が良く分かる本です。

編集者：公益財団法人 トトロのふるさと基金

定価：1600円＋税

「トトロの生まれたところ」

写真とスケッチが満載、トトロのスケッチも多数あり。見ていて楽しい。

宮崎駿 監修

定価：1200円＋税

以 上

担当 Eグループ 小川雅愛 柴崎善博